



クローバー通信

第 172 号



令和 3 年 7 月 10 日発行

〈医療法人社団 佐々木クリニック 介護老人保健施設 クローバー〉

〒191-0054 日野市東平山 3-1-1

☎042-585-8061



【 ワクチン接種の進捗状況は？ 】

季節感もどこかに飛んでしまうほどに、新型コロナ騒ぎに押しつぶされそうな毎日です。

今は、オリンピックをどうしてもやると、ワクチン接種が不十分な状況で、感染が広がっていても、やらなければ困る人々が推し進めています。

1年前のこの通信 7月号で「東京の新型コロナ陽性者一日 50 人を上回りました」と書いていましたが、今は 500 人をはるかに超えています。

当施設では、ご利用者の皆さん、職員もワクチン接種が完了しておりますが、世の中全体ではまだまだ遅々としており、「職域接種」だの、掛け声は掛けていても、ニュースにしているだけで、子どもたち等に接種できるのは、まだまだ先です。学校の教師や保育士もこれからの接種する状態ですから。

当施設の周りに目を向けますと、保育園ひよこハウスに 2 つ目の園庭ができ、そこには、かわいい小屋があり、実は子ども用トイレなのです。散歩ができるようになったら、ぜひ見てください。

周りの畑も当施設職員の農業グループの人たちが、蕎麦やへちまやミニトマト、きゅうり、大豆など野菜を多彩に育てています。一方、ひよこハウスの子どもたちは園庭にやってきて、走りまわったり、虫を捕まえたりして、元気に遊んでいます。園庭の端に植え込んだアカンサスモリスは、大きな葉とともに尖がった紫の花を咲かせています。今は、アナベル（紫陽花）もきれいですね。ご利用者の皆様が安心して、散歩を楽しんだり、ご家族の皆様と自由にお会いできるには、もう少し時間がかかりそうです。

申し遅れましたが、ご利用者様、ご家族の皆様には、感染防止のために、多大なご協力をいただき、心より御礼申し上げます。おかげさまで何とか発生を防げております。コロナ対策には、ワクチン接種を全年齢層に徹底するしかありません。いろいろ取り組んでいるように見せても、ワクチン対応の不手際で、今、施設接種を始めたら、足らなくなって中止というような状況です。

生活制限、業務制限をするだけでなく、生活保障をしたり、ワクチンを買ってくるなり、国内開発するなり、オリンピックよりやることがありそうです。

ご利用者・ご家族の皆様、こういう大変な時期を意識し、職員一同、工夫しながら、仕事をしてまいりますので、今月もよろしくお願ひ申し上げます。

佐々木 榮一

